

今週の聖句

「婦人よ、あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように」

マタイによる福音書 15:28

ねらい

どんな人も同じように愛してくださるイエス様の愛を学ぶ。

必死な母親の願い、執拗な祈りは聞かれる。

パンもパンくずも同じものであり、異邦のカナンの女も同じ恵みに与る。

説教作成のヒント

- ・ 異教徒は無条件的に救われるのではなく、救済におけるイスラエル優先の原則を認めつつ特別な謙遜さと熱意によって救われるということ。

豆知識

- ・ ティルスとシドン行きは、民衆の反対運動を避けるためもあった。主イエスはこの時まではカファルナウムが、その近辺で、押し寄せる群衆とともにおられた。この場面からガリラヤの郊外の旅へと向かう時期に移る。
- ・ カナンの女は、初めは自分の娘の癒しだけを求めるが、主のみ言葉によってへりくだった思いに導かれ、恵みを受けた。
- ・ 「失われた羊」とはエゼ34章4-6節、16節などに示されるように、イスラエル全体が確固たるものを失い神の導きを求めて頼りげなくさまよう有様を示す。

説教

イエスさまは、ガリラヤの地方から出て、エルサレムやエリコに行ったりしました。それからずっと北のティルスとシドンにも行かれました。

イエスさまとお弟子さんたちが歩いていると、カナンの外国の女の人が出てきて、イエスさまに何度もお願いをしました。「イエスさま、どうかわたしを助けてください。うちの女の子が重い病気に罹って苦しんでいます。治してやってください」

イエスさまは、お話をしたり、とても忙しくしておられたのです。この女の方は自分の子どものことばかりを考えていて、イエスさまにはたいせつなお仕事があることにも気がつかず、どこまでもついてきて、何度も何度も頼みました。お弟子さんたちは「先生、追い払ってください。やかましくてしかたがありません」と言いました。

イエスさまも「私は、まずイスラエルの人の中で神さまを忘れたたくさんの人たちを、神さまのところへ連れて帰るためのお仕事をしなくてはなりません。それが第一の仕事なのです」と申しました。そして、この女の人に自分勝手なお願いをしないように教えるために、「子どもたちのパンをとって、そのパンを小犬に投げてやってはいけませんでしょうか？」と言われました。

するとこの女の方は、今まで自分のまちがっていたことがわかり、すぐに申しました。「イエスさま、おっしゃるとおりです。イエスさまが神さまの大切なお仕事でお忙しいのもわかりますし、私はイスラエルの人間ではありません。でも小犬がテーブルの下でこぼれたパンくずをいただくように、ほんのちょっと私も助けていただけませんか？」と言ったのです。

イエスさまはこの女の方が間違っていたことに、すぐ気がついたことに感心されました。

「あなたの信仰はよくわかりました。あなたがほんとうに神さまを信じていることがはっきりしました。それで十分です。あなたの子どもの病気は必ず治ります。」

女の人は何度も何度もお礼を言いながら帰って行きました。そしてイエスさまのお言葉どおり、この女の子の病気はイエスさまが「必ず治ります」と言われたときに治っていました。この女の人は心から神さまにお礼のお祈りをしました。

イエスさまはここにいる私たちも同じように愛していただきます。イエスさまを心から信じて、神様のみ心にかなうお祈りを一生懸命するとき、神様は、きっと応えてくださいます。

分級への展開

さんびしょう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

51番

改訂27番

話してみよう

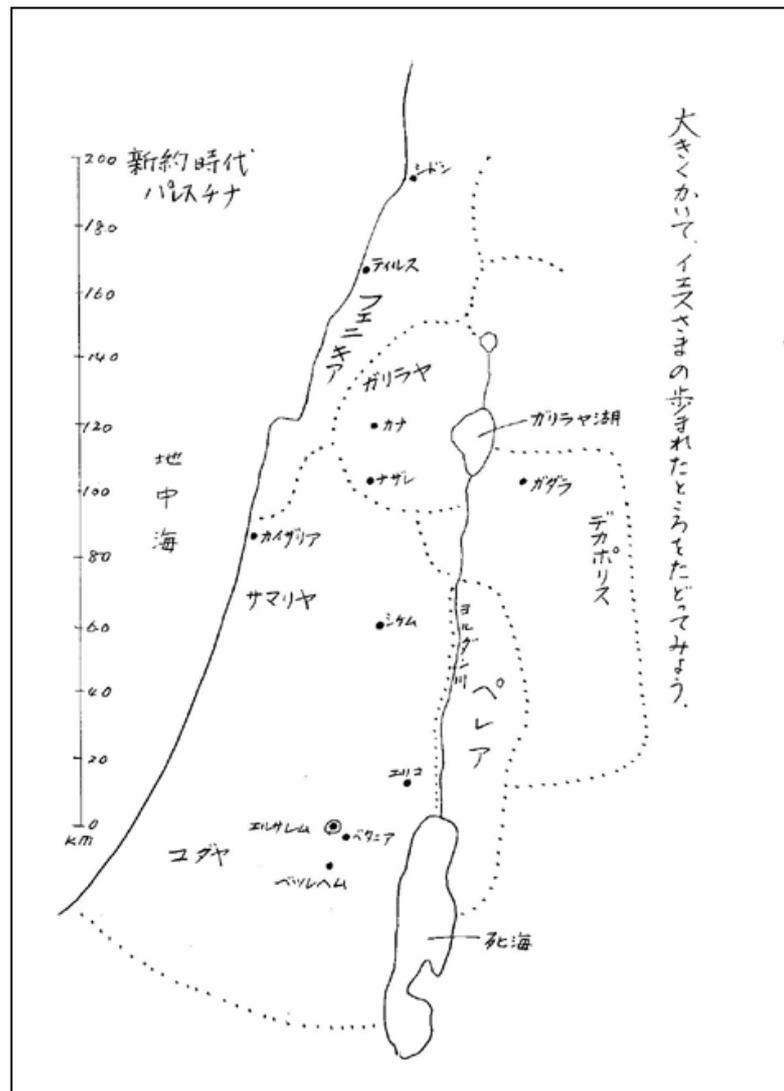
やってみよう

イエス様の歩かれた村や町を簡単な聖書地図を書いてたどってみよう (A4 ~ B4)

新約時代の聖書地図を参照。

- ・ ティルスとシドンの地方は？
地中海にそったこの辺りは、フェニキアと呼ばれています。住民はフェニキア人(カナン人)
- ・ イエスさまのうわさはここにも。
- ・ カナン人のお母さんは、病気の娘をもち、娘の病気のいやされることを願っています。イエスさまのところへきます。
- ・ カナン人のお母さんは、何とって呼びかけたのでしょうか。
「主よ！」
「ダビデの子よ！」
- ・ 「主人の食卓から落ちたパン屑のようにほんの少しでもいいです。小犬がいただく分を憐れんで下さい」
- ・ イエス様の祝福。

「婦人よ。あなたの信仰は立派だ。あなたの願いどおりになるように。」



暗唱聖句

「あなたはメシア、生ける神の子です」

マタイによる福音書 16章16節

ねらい

- ・ペトロが、信仰告白をしたのは人間的な行為ではなく、神の業である。自分の力ではなく、ただ神によってなされたのである。

説教作成のヒント

- ・主イエスと他の聖人といわれる人、例えば釈迦や孔子、ソクラテスなどとの違いは、イエスの人格、存在そのものに、自分との関わりを見出すことである。
- ・これまでもイエスが何者であるかの信仰の告白がなされてきたが、ここではイエス自身の「あなたがたは」どう思っているかという質問に対する正面からの答である。
- ・ペトロに対し、「岩」の上に教会を建てるという約束と、天の国の鍵を預けると言う大きな権限委譲をしている。

豆知識

- ・主イエスは静けさを求めたが、その度にじゃまがはいて、それを得ることができなかった。このところで外国との国境に近いフィリポ・カイサリア地方に行ってその場を得た。
- ・この箇所は、主イエスの教えと活動を記したマタイ福音書の中心的部分(4:17~16:20)の結びであり、弟子たちとの静かな、そして親密な関係の中で、マタイ福音書の山ともいふべき、大切な箇所であり、主イエスが、自分の本当の御姿を弟子たちにおたずねになる。

説教

お弟子さんたちは、イエスさまと一緒に生活をし、神様のお話を人々に伝えていました。

あるとき、イエスさまが「世の中の人たちは、人の子(イエスさまのこと)をだれだと言っていますか。」と弟子たちにお尋ねになりました。お弟子さんたちは「人々は、ヨハネさんやエリヤさんなど、預言者の生まれ変わりだと考えているようです」と答えました。

それを聞いたイエスさまは、弟子たちを見回しながら、「それでは、あなたがたは、だれだと言いますか」とおっしゃいました。世間の人になんと言おうと、あなたがた自身はどうなのだと、質問されたのです。

ペトロさんが真っ先に答えました。「あなたは、メシア、生ける神の子です。」と言いました。「メシア」とは、私たちが救ってくださる方のことです。これは、イエスさまと一緒にすごして経験したすべてのことを通して身についたペトロさんの確信でした。

イエスさまは、ペトロさんを「あなたは幸いな人です」と褒め、「このことをペトロさんに示されたのは神様なのです」と告げられました。信仰を言い表すことは人間だけでできることではなく、神さまがさせてくださることだと言うのです。

それから、イエスさまはペトロさんに向かって、「この岩の上に教会を建てると宣言なさいました。「岩」とはペトロさんのことですが、ここでは、ペトロさんが言い表した信仰を指しています。イエスさまを「神の御子、救い主」と告白する信仰が、教会の土台なのです。

ペトロさんは、最初にイエスさまのお弟子になり一番弟子として活躍した人です。しかし、イエスさまが十字架につけられたときには、人々からイエスさまの仲間だったと言われませんでしたら、イエスさま

まを知らないと三回も言って逃げたり、復活したイエスさまを見たらあわてて上着を着たまま水に飛び込むほどのあわて者だったりして、人としては弱いところもあったのです。でも、イエスさまから、褒められる様な答えをすることが出来ましたのは神さまがさせてくださったのです。

私たちも、イエスさまを信じることが出来るのは、神様の方から私たちに近づいてくださって、私たちが信じることが出来るようにしてくださるからです。

私たちも、イエスさまを「あなたはメシア、生ける神の子です」と言えるような信仰を与えられるように願いましょう。そしてこの信仰を言い表すことは、実は、私たちの信仰が確かであるということよりも、神様の祝福であるのです。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

6 7 番

改訂 5 3 番

話してみよう

- ・弱い人、小さい人とは？
- ・つまずかせる人とは？
- ・羊と羊飼いのこと

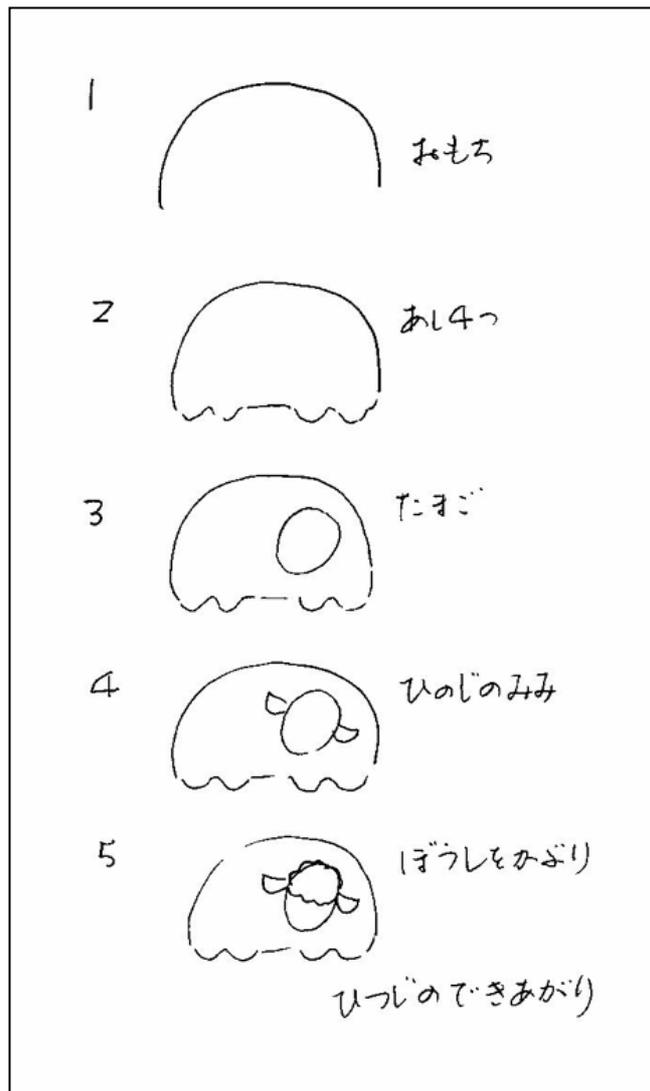
羊の先頭には羊飼いがいます（この様子を群といえますね）

一つの群はおよそ百匹ぐらいです。その内の小さな一匹が迷い子になったらどうしますか。イエスさまは良い羊飼いですからどこまでも小さな迷い子の羊をさがします。そしてかならず見つけだして救います。

- ・救いの喜び

やってみよう

羊を書いてみよう。まずおもちをかき、下に足を4つかきます。たまごをかいて、「ひ」の字のように耳をかきます。上にぼうしをかきます。ひつじのできあがり。99匹かいてみよう。最後に迷い子の小羊をかいて・・・。助けられたことを皆で喜び歌いましょう。



今週の聖句

「迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう」

マタイによる福音書 18:13

ねらい

イエスは生き方そのものが「小さな者」の側に身を置き、その者を受け容れられた。

空の鳥が空気を必要とするように、魚が水を必要とするように、わたしたち人間は、おたがいに受けいれられることを必要とする。

一匹を求めるのは、百匹がへるといふ、数の問題についての心配からではなく、一匹への愛なのである。その一人が、神の前にかげがえのない一人なのである。

説教作成のヒント

- ・ 常に「小さな者」の側に身を置いたイエスを思うべきである。無視され、拒否され、見捨てられる者が置きざりにされてはならない。教会の姿勢が「小さい者」を通して試みられている。「小さな者」という言葉は、マタイによる福音書において、様々な意味で配慮と助けを必要としている人間の総称である。

豆知識

- ・ 18章の説教は、5つに分けられており、通例、教会のあり方、特に「交わり」について論ぜられているが、今日のペリコーペはその内の前半3つの「小さな者への配慮」についてのものである。
- ・ 「迷い出た羊」のたとえによれば、羊飼いは99匹を山に残して、迷い出た羊を捜しに行く。山は神と交わる聖なる場所で教会を暗示する。すると迷い出た羊は教会からの離脱者である。このたとえは教会の指導者を羊飼いになぞらえ、教会から離脱した者を尋ね求めるようにと勧め、これが神の「御心」であると強調している。
- ・ 迷った羊のたとえ話において、羊の所有者は神を表している

説教

お弟子さん達が、イエスさまに、「天の国で一番誰が偉いでしょう」と尋ねました。イエスさまは一人の子どもを呼び寄せて「この子どもようになる人が一番偉い」とおっしゃいました。子どもは何にも出来ないから全部をお父さんやお母さんなどにしてもらおうよね。すべてをお父さんお母さんにお任せするようひとが天の国に入ることができると、イエスさまは言いました。このように弱く、小さいときこそ、神の愛と助けも大きいのです。小さく、弱いことだけが、幼ない子どもの特徴ではありません。それと、信頼すること、お任せすることがもう一つの特徴としてあげられます。

そしてイエスさまは、「そのように助けを必要とするような人を大事にしなければいけません、助けを必要とするような弱い者を完全に受けいれることが大切だ」ともおっしゃるのです。その場合、良い点だけを受けいれるのではありません。欠点も弱い点も駄目な部分も全部含めて、全体を受けいれるのです。それは、その人の価値によってでなく、十字架にかかってくださった、「イエス・キリ

ストの名のゆえに」受けいれると言うのです。空の鳥が空気を必要としているように、魚が水を必要としているように、わたしたち人間は、おたがいに受け入れられることを必要としているからです。

イエスさまは、また、一匹の迷う羊のたとえをお話しになりました。「お山にいるとき、百匹の羊のうち一匹がいなくなりそうになりました。羊を世話している人が、九十九匹をお山に残したままいなくなった羊を探しにゆくでしょう、そして、その一匹が見つかったら迷わずにいた九十九匹のことよりもその一匹のために喜ぶでしょう」と、おっしゃいました。神さまは、この一匹を受け入れ、他の九十九匹以上に喜ばれるのです。一匹を求めるのは、百匹がへるという、数の問題についての心配からではなく、一匹を大切にすることからだとすることなのです。

イエスさまはいつも、誰からも相手にされない人や、悲しがっている人、お病気の人などのお友だちになりました。イエスさまが大事にされたように、私たちが今いるこの教会では、「小さい者が大切にされることが大事ですよ」とイエスさまはおっしゃっておられます。その一人ひとりが、神さまの前にかげがえのない一人ひとりだからです。

私たちがイエスさまから とっても大切にされているように、私たちも、わたし達の周りにいる人、そのなかの、特に「小さな人」を大切に出来るといいですね。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

55番

改訂17番

話してみよう

イエスさまのうわさは村や町にひろまりました。人々はイエスさまのことを誰だと思ったのでしょうか。

- ・昔の預言者のひとり
- ・エリヤ
- ・バプテスマのヨハネ

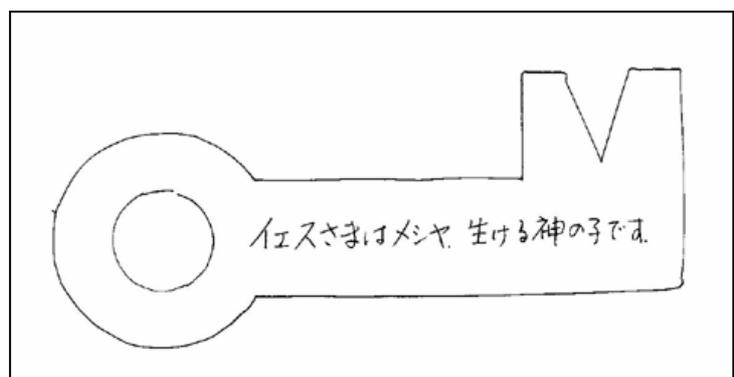
イエスさまは、弟子たちに「あなたがたはどう思いますか」とお聞きになりました。

- ・ペテロは「あなたはメシヤ、生ける神の子です」

この答えは、一番すばらしいものです。これこそ天国に入る鍵です。

やってみよう

ペテロの岩のようにがっちりとした信仰のことは、「天国の鍵」をみことば手帳にかいてみよう。その鍵の中央に、ペテロの答えたことばをかきましょう。



暗唱聖句

「わたしもその中にいるのである」

マタイによる福音書 18章20節

ねらい

- ・人に忠告するときも、祈りのうちに主イエスの御意志を推察し、主イエスが赦しを前提に歩んでおられたことの中で忠告するということを聖句より聞きたい。

説教作成のヒント

- ・忠告することなどに関しての主イエスの関心は、罪を犯した兄弟がもどってくることであり、その罪人を救うことである。
- ・私たちは本当の祈りのうちにイエスの意志を問うことがなされなければならない。
- ・このペリコーペのすぐ前の「迷い出た羊」のたとえとか、後の「仲間を赦さない家来」のたとえ、その他のイエスの行動を見ると、イエスの言葉は徹底した赦しを促すものである。

豆知識

- ・マタイによる福音書は、モーセ五書を意識して五つの長い説教を中心にして構成さる。モーセ五書はイスラエル民族の共同体の規範となるものであったが、マタイ福音書は「新しいイスラエル」と理解して「教会という共同体」を支えると同時にその規範となるものとして記されている。

説教

皆さんは、お友だちがあなたに対して何か悪いことをしたらどうしますか。イエスさまは、そういう時は、誰もいない二人だけのところで、「そんなことをしてはいけないだよ、って言ってあげなさい」とおっしゃいました。悪いことをした人は、そしてそれを指摘されたら恥ずかしいから、二人だけのところで言いなさいって言われたんですね。そのところでお友だちが忠告したことを聞いてくれたら、本当のお友だちになることができます。

でも、「そこで言うことを聞かなかったら、自分以外に一人か二人と一緒に行って、注意してあげましょう」ってイエスさまはおっしゃるのです。自分の言っていることが正しいのか、悪いことをしたと思った相手の人のいうことが正しいのか、聞いてもらうためにも自分以外の人にも聞いてもらいなさいって言うんです。

どうしてこのようにするのかと言うと、悪いことをしたと思う人の事を大切にするためなのです。

「それでもいうことを聞かなかったら教会に言いなさい」ってイエスさまはおっしゃいました。そして、教会が、その人のしたことを許したり、その人のしたことは許されないでだめだとしたことは、神様がなさったことと同じようなことです、とイエスさまはおっしゃるのです。

イエスさまが悪いことをした人に対して、一度だけではなく、二度も三度も注意してあげなさいって私たちにおっしゃるのは、悪いことをした人も、神さまにとっては大切な人だということなのです。

悪いことをした人とどのように関わりを持つかということ、そして、悪いことをした人が悪いことをしたことに気がついて、本当のお友だちとして一緒に前のように、その人と過ごそうとするその努力は、決して無駄になることはありません。

そして、イエスさまは「どんな願いごとであれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」といわれました。

二人、または三人がイエスさまのお名前によって集まるところには、イエスさまご自身がいてくださる、必ずそこにいてくださるのです。今も、ここでみんなと一緒にイエスさまのことを知ろうとして聖書のお話を考え、聞いているとき、ここにもイエスさまはいてくださるのです。

イエスさまは私たちが良くないことをしたとしても、いつも赦してくださろうとしておられます。イエスさまのお名前によって集まるこのような仲間のなかで、「わたしもその中にいる」といつてくださるイエスさまが守っていてくださることに、ありがとうって言って、今週も過ごしましょう。

分級への展開

さんびしよう

* 讚美歌は ” こどもさんびか ” (日キ版) より

97番

改訂18番

話してみよう

- ・兄弟のこと ・友だちのこと ・年上の人・年下の人のこと ・わがまま
- ・悪い誘惑のこと ・忠告はどのようにしますか

(例話)

星野富弘さん(詩画家)を知っていますか。教育大を卒業後、中学校教師になりましたが、教師になって間もなく、体育の時間に事故でケガをして頸椎損傷で首から下が麻痺。心が動転し、生きる希望を失いました。苦しい闘病生活が続きましたが、彼には友人がいました。友人は病床の彼を見舞って、彼のために涙を流してお祈りをし、聖書をおいて帰りました。自分のために涙を流してお祈りしてくれる人がいることを知り、はじめて聖書を読みはじめました。その間に心の眼が開いて、イエスさまのことがわかるようになりました。彼は麻痺した身体でいつも寝たままの姿で天井を見えています。しかし、

「毎日見ていた 空が変わった 涙を流し友が祈ってくれた その頃

恐る恐る開いたマタイの福音書 あの時から空が変わった 空が私を 見つめるようになった」

星野富弘さんはやがて洗礼をうけてキリスト者になりました。友人と富弘さんの間にイエスさまがいて下さったことがわかりました。

やってみよう

次の形の切り紙をつくり、友達の輪をつくりましょう。そしてその真ん中にイエスさまをおいて下さい。

